

令和7年度 長野県長野高等学校学校評価 【定時制】（年度末評価） [まとめ]

・評価はA:十分達成されている B:おおむね達成されている C:どちらともいえない D:やや不十分である E:不十分である

・指標はA=100、B=80、C=60、D=40、E=20とした時の平均です。

評価項目	評価の観点	保護者評価					学校評議員評価					職員評価					ご意見・ご要望 ①保護者 ②学校評議員 ③職員(「参考資料」も併せてご覧ください)	概況			
		A	B	C	D	E	指標	A	B	C	D	E	指標	A	B	C			D	E	指標
1 安心して学べる環境づくり	① 生徒個々に応じた支援体制をつくり、きめ細やかな支援できたか。	8	13	3	0	0	84	4	2	0	0	0	93	3	7	0	0	0	86	③生徒の安心安全確保のために職員が一体となって対応できた。	
	② 登下校や、学校生活の安全を確保するための指導ができたか。	8	13	1	1	1	82	3	3	0	0	0	90	1	8	1	0	0	80		
	③ 良好な友人関係づくりへの支援を行い、お互いを認め尊重し合う学習環境づくりができたか。	8	12	3	0	1	82	3	3	0	0	0	90	0	10	0	0	0	80		
2 基本的な生活習慣の確立	④ 生徒の日常生活を把握し、基本的な生活習慣の確立のための指導ができたか。	6	14	3	0	1	80	3	3	0	0	0	90	3	7	0	0	0	86	②進学希望者に受験に対応できる学力の定着を目指す個別指導を実施できたことはよかった。 ②表現力のうち不足していると考えているのは、対面での口頭発表か？文章やプレゼン資料を作成する力か？どれかを伸ばせば全体的な力を伸ばせると思う。 ③生徒に対しては担任との面談以外に、生徒たちが希望する先生との面談を行うことで、多くの目で生徒たちを見守る体制を取ることで、様子の把握に努めた。	
	⑤ 出欠席の連絡を徹底させ、生徒の動静を把握できたか。	10	11	2	1	0	85	5	1	0	0	0	97	2	7	1	0	0	82		
3 わかる授業と力を伸ばす教育の実践	⑥ 生徒の学力・能力に応じた、わかりやすい授業の工夫・実践ができたか。	7	12	3	2	0	80	4	2	0	0	0	93	1	8	1	0	0	80	③職員それぞれの特性や特技を活かし、分かりやすい授業の工夫・実践ができた。 ③不十分な一面もあるが、生活体験発表や生徒会誌作文等の機会をとらえ、表現力の鍛錬を行うことができた。	
	⑦ 授業を通して、表現力をつける工夫・実践ができたか。	6	12	6	0	0	80	1	5	0	0	0	83	0	6	4	0	0	72		
	⑧ 卒業・単位取得への道筋を理解させ、卒業・進級への支援を行えたか。	7	15	1	0	1	83	4	2	0	0	0	93	2	7	1	0	0	82		
4 キャリア教育や探究活動などの校外学習の充実	⑨ 進路講話・ガイダンス等の開催により、生徒の進路意識を高揚させることができたか。	9	12	2	0	1	83	5	1	0	0	0	97	3	7	0	0	0	86	③進級・卒業で精一杯という生徒にも、近い将来について考える機会を繰り返し与えてきたことで、これまでよりは進路意識を高揚させることができた。ただ、学校のそうした意図や活動を保護者に伝える工夫が不十分だったと感じている。	
	⑩ ハローワークなど、外部機関と連携したキャリア教育を行えたか。	7	10	5	1	1	78	4	2	0	0	0	93	4	5	1	0	0	86		
	⑪ 生徒の進路希望を把握し、生徒個々に応じた進路指導ができたか。	7	14	1	1	1	81	5	1	0	0	0	97	4	6	0	0	0	88		
5 開かれた学校づくり	⑫ 地域と連携した授業を企画、実施することができたか。	6	11	7	0	0	79	1	4	1	0	0	80	0	7	3	0	0	74	③総合的な探究の時間のエディブルガーデンや家庭科では具体的に良く取り組みが進められている。 ③定時制日より「金鶏の雛」で定期的に生徒の姿を振り返ることができている。 ③活動の時間帯が夕方から夜という難しさはあるが、そうした中でも学校周辺の環境美化などに取り組むことで、公共の意識を高めることができた。	
	⑬ HP・各種通信等により、学校活動の情報提供に努めたか。	7	13	4	0	0	83	4	2	0	0	0	93	2	7	1	0	0	82		
	⑭ 校外での活動等を通して、地域から理解されるように努めたか。	6	11	7	0	0	79	3	3	0	0	0	90	2	7	0	1	0	80		

【学校より】
保護者の皆様、学校評議員の皆様には、学校評価へのご協力をいただき、感謝申し上げます。
今回の年度末評価で評価が高かったのは、「①生徒個々に応じた支援体制をつくり、きめ細やかな支援ができたか」と「⑨進路講話・ガイダンス等の開催により、生徒の進路意識を高揚させることができたか」でした。①に関しては、担任のみならず、担任以外の先生との個別面談を定期的に行い、必要に応じてSCや外部機関と連携し、対応してきたことが評価され、⑨に関しては、外部機関と連携し、校外で進路ガイダンスを複数回実施することで、生徒自身の進路について早い時期から意識させることが評価されたと考えます。これに対して、「⑦授業を通して、表現力をつける工夫・実践ができたか」と「⑫地域と連携した授業を企画、実施することができたか」の2項目が全体的に低評価でした。⑦に関しては、単に文章を書かせるだけではなく、家庭科の授業における創作物を通しての表現を行ったり、生活体験発表大会に向けて全員で自分自身を振り返り、文字として表現するなど多様な方法で実践しているが、引き続き様々な授業や行事を通して活動を深めたいと思います。⑫に関しては、夜間定時制という特性上、地域との連携は容易ではないが、講演会の講師人材等お願いする方向で検討しています。
保護者・生徒および学校評議員の皆様からいただいた声を真摯に受け止め、今後とも、教育活動内容、教育環境の改善・向上に努めてまいります。学校への要望・意見がございましたら、いつでもお気軽にお寄せください。